

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【総括表】

2025 年度分

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	生活協同組合 コープみらい	代表者	代表理事専務理事 鳥羽 治明	法人・ 事業所 の特徴	「生協の10の基本ケア」を実践し生活リハビリを念頭においてケアを行っております。皆様に在宅生活を続けて頂く為にスタッフ一人一人がご利用者に寄り添い日頃の業務を行っています。又、四季折々のイベントを行っています。倶楽部活動と称し音楽・園芸等の倶楽部活動を行い、皆様に楽しんで頂いております。
事業所名	小規模多機能ホーム コープ夢みらい北本	管理者	釣 正人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	人	11人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>1: 身体状態の変化、ご本人・ご家族からのニーズがあった際は随時職員と協議をし、サービス内容の見直し及びライフサポートプランの修正ができる様にしてい</p> <p>2: 定期的にカンファレンス日(火曜日・随時)を決めて継続開催、ライフサポートプランに反映できる様にしてい</p> <p>3: 定期的なカンファレンスを継続開催できる様に日程調整をして開催頻度を増加させる又、毎月の職場会にてカンファレンス開催、ケア方法の見直し、振り返りや情報共有を継続して</p> <p>4: 定期的な営業(周知活動)を継続して。又、地域の社会資源を有効活用しながらご利用者の支援を継続して</p> <p>5: 介護保険のサービスだけではの支援は限界の為、他の社会資源を有効活用しながらご利用者の支</p>	<p>1: 状態変化があった際は職員と確認や情報共有、カンファレンスを基にサービス内容の見直しを随時行い、ライフサポートプランの修正ができて</p> <p>2: 利用者増加により利用者対応に追われ、職場会でのカンファレンスの開催しかできなかった。職場会で検討した課題は直ぐにライフサポートプランへ反映して対応ができて</p> <p>3: 毎週(火)、音楽倶楽部、ボランティアの方達が来所されている時間を利用して実施してきたが、利用者対応が優先され、ほとんど開催が困難だった。職場会にて振り返りや情報共有は継続的にできて</p> <p>4: 居宅・地域包括への訪問営業実施、継続にて知名度が上昇、ご利用者が増加して</p> <p>5: 医療系サービス(訪問看護・訪問マッサージ等)、配食サービス、</p>	<p>1: 全職員で情報共有を図り、課題を抽出、カンファレンスを通して問題解決に向けて協議、サービス内容の見直し、ライフサポートプランは随時修正をして</p> <p>2: カンファレンスは開催できていたとしても出勤していない職員がいると意見が反映しにくい</p> <p>3: カンファレンスを開催する時間を生み出す事ができておらず、統一したケアができていない。ご本人の気持ちに寄り添う気持ちが持っているが、カンファレンスで共有するだけでケアに反映されていない場面が散見されている</p> <p>4: 新規のご利用者をご紹介頂くには定期的な訪問営業の継続が必要</p> <p>5: ケアマネ以外の職員が社会資源について知識が少なく、カンファレンス際に考えが至らない事が有り。地域の社会資源を学ぶ機</p>	<p>1: 新規のご利用者の際のカンファレンスの開催、毎月の職場会の際に必ずカンファレンスが開催する様にしてい</p> <p>2: ご利用者が増加した影響によりカンファレンスが定期的に開催できていない為、定期的に開催できる方法を職場会で検討して実行して。又、随時ライフサポートプランを修正し、支援に反映できる様に継続して</p> <p>3: カンファレンスを開催する時は音楽倶楽部、ボランティアの方達が来所されている時に開催、朝礼時に職員へ伝え、開催時間になったら直ぐにできる様に体制を整えておく。又、毎月の職場会にてカンファレンスを必ず開催、ケアの方法の見直し。振り返りや情報共有を継続して</p> <p>4: 地域の社会資源を知る為に職場会等で情報共有を図って</p> <p>・今後も知名度を上昇させる事、</p>

	<p>援を継続していく。</p> <p>6: ボランティア受け入れを再開、地域交流スペース開放・貸出しを継続する事で地域住民が気軽に来所・利用ができる様にしている。</p> <p>7: 隣接している公団団地自治会と共同で実施できるイベント等を企画して検討できる様にしている。又、地域のイベントの情報収集をして参加できるようにしていく。</p> <p>8: 外部研修を受講する事ができていない為、外部研修を受講できる様な体制を整備する事で個々のスキルアップを図っていく。</p> <p>9: 個人情報の管理を継続を徹底しながら日々の業務を行っている。</p>	<p>訪問美容等の地域の社会資源を提案・情報提供により利用して頂き、支援を継続している。</p> <p>6: R5年5月よりボランティアの受け入れの継続、地域交流スペースの開放・貸し出し継続にて R6年5月から毎月第4(金)に北本社協包括のオレンジカフェを開催、お手伝いの継続、又、R7年11月に近隣住民の方の風景画展を地域交流スペースにて開催、R7年7/22(火)に小規模多機能主催でいきいき健康サロンを開催(歯科衛生士による誤嚥性肺炎予防・ブラッシング方法について)</p> <p>7: 公団団地自治会との共同のイベント企画・開催はできなかった。又、地域のイベントの参加もできなかった。地域の方向けにいきいき健康サロンを再開して開催する事ができた。</p> <p>8: 個々での研修計画に基づいて学習は継続できているが、各自で外部研修に参加する事がほとんどできなかった。</p> <p>9: 個人情報の保管は徹底しているが、タブレットの開きっぱなしや申し送り等のファイルを開いた状態が多々あった。</p>	<p>会が無く提案・導入まで至らない。</p> <p>6: 毎年、地域密着型サービス事業所作品展へ参加、ご利用者を連れて北本市役所へ見学へ行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年5月以降は定期的にボランティア(オカリナ・ハーモニカ、沖縄音楽、シニアバンドの方々、小学生の合唱団等)の受け入れの継続によりご利用者に楽しんで頂いている。又、地域交流スペース貸し出しの継続もできている。 ・北本社協包括主催のオレンジカフェを開始(地域交流スペースを貸し出し)してから事業所を訪れる方が増加している。 <p>7: シフトの都合等で公団団地自治会と共同でのイベントへの参加、地域のイベントへの参加ができていない。</p> <p>8: 毎月の職場会にて研修が実施の継続はできているが、外部研修が受講できていない</p> <p>9: 利用者対応に追われタブレットや申し送り等のファイルを開いたままその場を離れてしまう事がある。又、プライバシー等の意識ができていない職員がいる。個々の意識、判断が統一されていない。</p>	<p>選ばれる為の事業所であり続ける為に居宅・地域包括・医療機関への訪問営業を継続していく。</p> <p>5: 今後も地域の社会資源を継続的に有効活用していく。又、職場会等で地域の社会資源について情報提供を市で職員自身の知識を深めていく事で支援に結び付きができる様にしている。</p> <p>6: ボランティア受け入れや地域交流スペースの利用頻度は多少増加しているが、地域住民がもっと気軽に利用できて施設内へ敷居が低く入れる様な体制作りをしていく。又、今後も地域の方向けにいきいき健康サロン等のイベント等の開催を継続していく。</p> <p>7: 運営推進会議の中で公団団地の自治会長と協議をして共同でイベントを企画・参加ができる様にする事、1階のディサービスと協働で企画をし、イベントを開催やコープみらい北本介護センター主催で地域住民が消防訓練に参加できるように対応を検討していく。</p> <p>8: 外部研修が受講できる様に職員への声掛け、シフトを調整して外部研修が受講できる様に体制を整えていく。又、地域・地区で開催している連絡会等になるべく参加ができる様にシフトや業務を調整していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・地区で開催している連絡会等になるべく参加ができる様にシフトや業務を調整していく。 <p>9: 個人情報(個人ファイル等)の管理は今後も徹底して継続して</p>
--	--	--	---	--

				いく。職場会で等でタブレットのクローズや申し送りファイル等を開いたままにしない様に情報共有を図って実行していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	地域の方が気軽に来て頂ける様に環境整備、介護相談等を設定ができる様に検討していく。	ボランティア受け入れの継続、地域交流スペースの開放・貸し出しの継続。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内でお祭りやイベントを開催して地域の方達が来所する事で知名度が上がったり、口コミで知名度が広がっていくと思う。 	地域の方達が気軽に施設に入っていける様に敷居が低い施設になれる様にしていく為に公団団地自治会から公団団地住民へ夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーへの配布の継続、コープ北本店にて掲示、周知活動を継続。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の催し物やイベントに参加する。	コロナ・インフルエンザ感染拡大防止の為に地域のイベントや交流に参加できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・公団団地の中庭は頻回にイベントを開催している為、中庭へ訪問し夢みらい北本のチラシ配布をして知名度上昇に繋がるのではないかな。 ・まずは地域で開催しているイベントへ参加して夢みらい北本の事業所の知名度を上げる事や顔を覚えてもらう事が大切ではないかな。 ・イベントを通して口コミで事業所としての知名度が広がっていくと思う。 ・中庭で第3(木)にイベント等を含めて開催している為、利用者を持って交流を図るのも良いのではないかな。他事業所のご利用者を持って来所している所も有り。 ・毎年、地域密着型サービス事業所作品展へ参加、ご利用者を連れて北本市役所へ見学へ行った。 ・R5年5月以降は定期的にボランティア(オカリナ・ハーモニカ、沖縄音楽、シニアバンドの方々、小学生の合唱団等)の受け入れの継続によりご利用者に楽しんで 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベント等に参加できるように調整・検討をしていく。 ・公団団地の掲示板へ夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーを掲示する旨を検討していく。 ・R8年秋に北本介護センター4事業所全体でイベントを開催予定、地域住民を招待して地域との関わりを作っていく。 ・R7年5月：居宅主催でいきいき健康サロンを地域交流スペースにて開催。 ・R7年7/22(火)：小規模多機能主催で北本介護センター地域交流スペースにて地域の方向けへ鴻巣市にあるフラワー歯科医院様から専門家が教える正しいケア(誤嚥性肺炎予防・口腔内ブラッシングについて)を実施。 ・R7年9/24(水)：通所介護主催で地域交流スペースにていきいき健康サロンを開催。 R7年11/3(月)：近隣住民の方が地域交流スペースにて風景写真展を開催。 R7年11/21(金)：訪問介護主催

			<p>頂いている。又、地域交流スペース貸し出しの継続もできている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北本社協包括主催のオレンジカフェを開始（地域交流スペースを貸し出し）してから事業所を訪れる方が増加している。 	<p>でいきいき健康サロンを地域交流スペースにて開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢みらい通信・倶楽部活動カレンダーへオレンジカフェのアナウンスを掲載を継続し、家族や地域の方達への参加を促している。 ・R8年度は家族会を開催予定。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の方と触れ合えるイベントを検討をする。	地域のイベント開催日程を把握できていない事、シフトの関係等で地域のイベントや交流に参加できなかった。		
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議の際に委員の方々から出た意見・ご提案を基に随時検討をする。	会議で出た質問やご提案に対して随時対応を検討・改善を実施していく。	公団団地等の地域の防災訓練に参加した事や近隣のイベント等に参加した事が無い。	会議で出た質問・ご提案に対して随時対応を検討し事業所運営に反映をさせていく。
F. 事業所の防災・災害対策	年に2回は必ず防災訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）を北本介護センター全体で継続実施していく。	R5年5月以降は年に2回の防災訓練時は1回は消防署員の同席の元で継続的に実施できている。 R7年11月及びR8年3月に消防署員立ち合いで実施済。	職員のシフトの関係で防災訓練時は全職員が参加できていない。	今後も年に2回は北本介護センター全体及びご利用者の参加も含めて消防署員立ち合いの元で防災訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）を継続していく。